

手塚治虫生誕80周年記念

たんば田園交響ホール
開館20周年記念

1928 ∞ 2008

ミュージカル

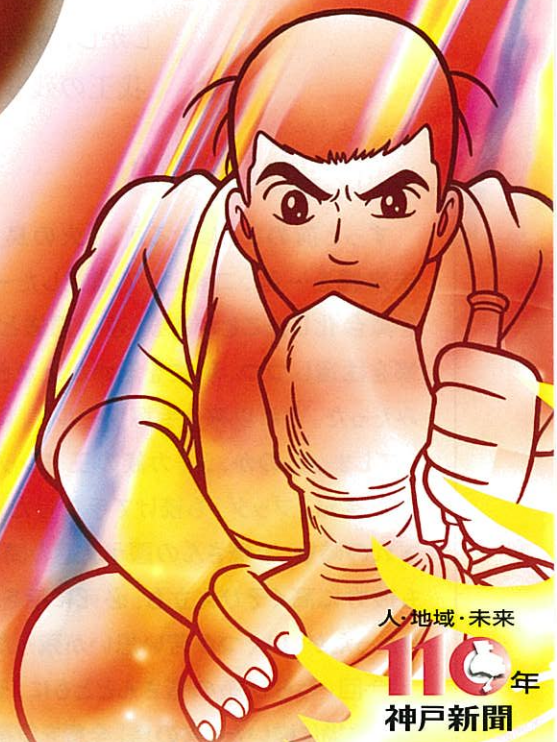
火の鳥

鳳凰編

©手塚プロダクション

生と死と輝きの物語

原作◎手塚治虫
演出◎栗山民也
脚本◎齋藤雅文
音楽◎甲斐正人
美術◎妹尾河童
協賛/手塚プロダクション・角川書店



WARABIZI
わらび座

TEZUKA OSAMU 80th
1928-2008
手塚治虫生誕80周年記念

人・地域・未来

110年
神戸新聞

2008年7月27日(日)
午後3時開演 (開場午後2時30分)

たんば田園交響ホール

主催:篠山市/神戸新聞社

入場料 **全席指定**
一般 3,500円
団体 3,200円 (10名以上)

プレイガイド

- 篠山市内(079)
小山書店.....552-0019
木下楽器.....552-0321
森本書房.....552-0125
紙ふうせん.....554-3340
パザールタウン篠山NEWS館.....594-3700
JA丹波ささやま旅行センター.....594-3090
黒豆の館.....590-8077
今田公民館.....597-2255
- 三田市内(079)
阪急マックスえるむ'ザ'店...565-1148
- 丹波市内(0795)
春日文化ホール.....74-1050
柏原観光案内所.....73-0303
丹波の森公苑.....72-5170
※ローソンチケット(Lコード:52007)
.....0570-084-005

友の会予約 5月18日(日)午前9時(電話のみ)
一般発売 5月22日(木)午前9時
※ローソンチケットの発売初日は、午前10時からの取り扱いです。

予約・お問合せ:たんば田園交響ホール(079)552-3600



手塚治虫生誕80周年記念

1928 ∞ 2008

ミュージカル 火の鳥 鳳凰編

©手塚プロダクション

原作◎手塚治虫

演出◎栗山民也 脚本◎齋藤雅文 音楽◎甲斐正人 美術◎妹尾河童 衣裳◎樋口藍 照明◎勝柴次朗

舞台は奈良時代と呼ばれた8世紀の日本。

隻眼隻腕の盗賊・我王は、命を助けられた高僧・良弁上人と諸国を巡るうちに、病や死に苦しむ人々の姿に出会い、眠っていた彫刻家としての才能を開花させました。一方、若き日の我王に利き腕を傷つけられた仏師・茜丸は、精進の末にリハビリに成功して、名声を高め、奈良・東大寺の大仏建立のプロデューサーにまで出世しました。

茜丸のパトロンとなった時の権力者橘諸兄は、大仏殿の鬼瓦の製作を、茜丸と我王に競わせることに決め、ふたりはライバルとして運命の再会をします。

しかし、勝負に敗れそうになった茜丸は、我王の旧悪を暴露して、我王の残っていた右腕を切り落とさせてしまいました。(原作より)

演出／栗山民也

ずっと前のことになるが、『火の鳥』の黎明編と未来編を一幕、二幕として構成した一つの音楽劇を舞台化したことがある。遠い過去とこれからの未来を往還しつつ、現在を浮かび上がらせるという試みだった。それ以来「手塚ワールド」にまんまとハマってしまったのか、シャカ族の王子シッダールタを描いた長編『ブッダ』も続けて手掛けた。しかしそのいずれの時も、手塚さんの願う永遠の問いかけがいつも彼方に高くそびえ立ち、必死に手を伸ばしたつもりだったが、いくつか苦い思いが残った。

今回、わらび座の皆さんとともに、その生命の連鎖を執拗に描いた『火の鳥』全編を象徴する物語「鳳凰編」へと、さらなる高みを求めて大きくジャンプしてみようと思う。

脚本／齋藤雅文

今だからこそ「火の鳥」を

人は死んだからといって「命」が終わるわけではない。そして、そう都合よくまた人間に生まれ変わりもしない。だから、生きよう。精一杯、悪あがきしても、生きよう! …手塚治虫は「火の鳥」でそう語りかけているように思えます。

「命」は、永遠のもの。自分一人で終わるわけではないのだから、と。

「火の鳥」は、手塚治虫が、我々の未来に託した、究極のメッセージです。



2008年わらび座が贈る 手塚治虫の不朽の名作「火の鳥」完全ミュージカル化